



龍野ロータリークラブ週報

よいことのために手を取り合おう

2025-26 年度国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレッツオ

UNITE FOR GOOD	2025-26 年度 会 長 伊藤充弘 幹 事 神名大典 <small>公信イメージ・広報委員長</small> 段 克史	例 会：毎週木曜日 12:30～13:30 龍野経済交流センター1階 事務局：〒679-4167 たつの市龍野町富永 702-1 龍野商工会議所内 TEL 0791-63-4141 FAX 0791-63-4360 E-mail tatsunorc1@gmail.com
-------------------------------	---	--

No.3 (3205 号) 2025 年 (令和 7 年) 7 月 17 日 (木) 雨

例会記録

<u>点 鐘</u>	それでこそロータリー
<u>来 客</u>	たつの市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 石堂博靖様
	RI 第 2680 地区西播第 2 グループガバナー補佐 箸藏法岳様 (上郡佐用 RC)
<u>来訪会員</u>	なし

出席報告

会員数	出席	出席免除	欠席	出席率	前々回欠席	メークアップ	修正出席率
20	13	3	7	72.22%	3	1	88.23%

会長の時間 ●伊藤会長

今日はロータリーの理念についてお話をさせていただきます。内容は、ロータリーリーダーシップ研究会(RLI)の研修に参加した際にいただいたテキストからのお話になります。内容は盛りだくさんでしたので、今年 1 年かけて皆さんと共有していきたいと思います。研修の内容ですが、7~8人の小グループに分かれて、ロータリーを題材として意見や想いを出し合うことで多くの気づきを得ていくという流れになっています。毎年この研修は実施されていますので、機会がありましたら是非積極的に参加してみてください。

ロータリーの基本理念ですが、共通の目的や指針として、長い年月をかけて形づくられたものです。互いの関係や行動の土台として、世界中のロータリアンがこれらの理念を大切にしています。

皆さんも「四つのテスト」などを耳にされていると思いますが、入会して日の浅い方にとっては「何度も聞いたように気がするが、内容まではちょっと」というのが本当のところだと思います。すべてのロータリアンが通る道ですので、ご心配は不要です。

一つ一つお話をしますと時間がかかりすぎますので、今日は基本となります「ロータリーの

目的」についてお話をさせていただき、それ以外は次回以降に回したいと思います。

「ロータリーの目的」の原文は「OBJECT OF ROTARY」となっています。元は「綱領」と訳されていましたが、2012 年に「目的」と日本語訳が変更されましたので、それ以降は「目的」で統一されています。

「ロータリーの目的」

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つことはすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業及び社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワーキングを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。



この4項目がロータリーの目的です。このお話をさせていただくにあたり、私自身がすっかりと忘れていたことに気が付きました。目的を忘れたま

RI 第2680地区西播第2グループガバナー補佐ご挨拶



上郡佐用ロータリークラブの箸藏と申します。入会しましたのは阪神淡路大震災の直前でした。会長年度の時に、東日本大震災が起こりました。

年度末にはメールが届いたと思うのですが、マリオ国際ロータリー会長エレクトが辞任との知らせが届きました。

大変驚かれたと思いますが、城守ガバナーからは、「RI 理事会からの声明が出るまでは、何も決まりませんので、冷静に成り行きを見守って下さい」との知らせが届きました。

まで会長職を務めるという暴挙に出てしまつたことを反省しております。

●箸藏法岳様（上郡佐用 RC）

また、「メッセージは RI 会長エレクト一人で決めるものではないので、白紙になる事はまず無いと思います」という見解を戴きました

幸いイタリアのラグーザ・ロータリークラブのフランチエスコ・アレッツォ氏が指名を受諾されました。

2025-26では、テーマという表現ではなく、メッセージという言い方をされております。「unite for good」、「よいことのために手を取りあおう」は継続されます。このメッセージは、政治、地理、イデオロギーで益々分断される世界において、結束する力になる様ロータリー会員に呼び掛けるものです。奉仕プロジェクトを通じ、ロータリーは、様々な背景を持つ人々(人種、職業、宗教を超えて)を繋ぎ、地域社会で良い事を行うという共通の使命の為に活動します。

私自身は、地区とクラブとのパイプ役として、クラブとクラブの繋ぎ役として務めたいと思いますので、宜しくお願ひ致します。

卓　　話

たつの市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 石堂博靖様
「たつの市社会福祉協議会について」



◆社会福祉協議会とは

社会福祉協議会（略：社協）は、社会福祉法第109条に「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として位置づけられ、すべての都道府県・市区町村に設置されている社会福祉法人格を持つ民間の福祉推進団体です。

社協は、地域住民や福祉関係者が協働して、つながりづくりをはじめとする地域福祉活動を進めています。また、様々な生活課題を地域全体の問題としてとらえ、みんなで考え、話し合い、活動を計画し、協力して解決を図ります。

これらの取組を通じて、安心して暮らせる地域づくりと地域福祉の推進を目指しています。

◆組織

社協は、社会福祉法や定款などの規定に基づき、各種団体、住民代表、行政などからの選出者で構成しています。業務の意思決定機関としての理事会、理事の職務執行や財産状況などを監査する監査委員会、そして業務執行、財産状況、予算・決算などの諸決機関としての評議員会を設置し、新規監督の機能を担かせています。

また、専門的な課題に対して審議する諮問機関としての各種委員会などを設置しています。

そして、地域の福祉課題や住民の声を集約し、業務に反映させるために市内4地域に支部運営委員会を設置しています。また、業務を執行するための事務局を本部と支部に設置しています。

